

令和5年3月23日	
所 属	高校教育課
所属長	中道 隆広
電 話	06-4950-4710

尼崎市立高等学校プログラミング教育実証研究に関する覚書の締結について

尼崎市教育委員会は、園田学園女子大学情報教育センター及びダイワボウ情報システム株式会社と尼崎市立高等学校プログラミング教育実証研究に関する覚書を令和5年3月17日に締結しました。

1 締結に至った経緯

高等学校では、令和4年度から学習指導要領が改訂され、共通必修科目「情報Ⅰ」が新設されました。「情報Ⅰ」では、すべての生徒がプログラミングやネットワーク、データベースの基礎について学ぶこととなります。令和2年度の小学校のプログラミング教育必修化から始まり、中学校・高等学校と、系統的なプログラミング教育が期待されるなか、多くの高等学校ではプログラミング教育を実施する立体的な機材を所有していない課題がありました。

尼崎双星高校では、令和4年度に園田学園女子大学の協力を得て、プログラミング教育のサポートを受けながら、授業を展開しました。この経験より園田学園女子大学情報教育センターの堀田博史先生およびダイワボウ情報システム株式会社から市立高等学校に対するプログラミング教育サポートプロジェクトが提案されました。

高等学校が近隣の大学や企業と協働して、授業支援と機材提供を受けることにより、立体物を活用したプログラミング教育をサポートする体制を構築し、かつ共通必修科目「情報Ⅰ」のプログラミング・カリキュラムを作成し、生徒のプログラミングへの理解をより深めることを目指し、覚書を締結することになりました。

2 覚書の骨子

- (1)ダイワボウ情報システム株式会社は、尼崎市教育委員会を通じてプログラミング教育に活用する物品を寄付する。
- (2)教育委員会は管轄下の学校において、園田学園女子大学の協力のもと、寄付された機材を活用した授業の指導計画及び指導案を作成する。
- (3)園田学園女子大学は、情報教育を創造できる教員養成を行うため、機材を活用した授業設計、教材の開発及び効果検証を通して教育委員会（学校）及びダイワボウ情報システム株式会社に指導助言を行う。
- (4)本事業の取り組みをダイワボウ情報システム株式会社、園田学園女子大学情報教育センターのWebサイトに掲載する。

3 覚書に基づくプロジェクトの概要

(1)実施体制

尼崎市教育委員会（尼崎市立高等学校3校）、ダイワボウ情報システム株式会社、園田学園女子大学情報教育センターの協働プロジェクトとして実施します。高等学校でのプログラミング教育の授業支援は、園田学園女子大学の学生が行います。

(2)取組期間 令和5年4月1日から令和7年3月31日まで

(3)提供物品

機材はダイワボウ情報システムより尼崎市教育委員会に対して寄付されます。

- ・プログラミングロボット Root rt1 20台
- ・レゴエデュケーション SPIKE プライムセット 20セット
- ・TechLearner 情報Ⅰ デジタルドリル 325本 等 以 上